センター日本史対策講座

24 武断政治から文治政治へ

文治政治への転換

名君と儒者 ❷藩主と招かれた学者に注意

【2007-追】

前田綱紀について述べた文で正しいのは。

- ① 徳川家官の侍講となり、幕政にも参画した。
- ② 会津藩主で、将軍家綱を補佐した。
- ③ 木下順庵を招き、学問の振興をはかった。
- ④ 閑谷学校を設け、教育の振興をはかった。

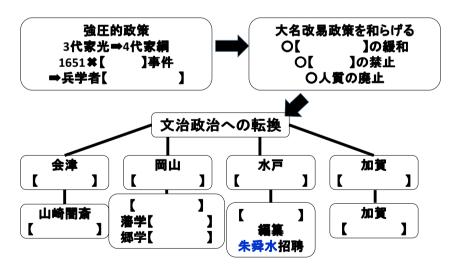
答➡

【2005-追】

「17世紀半ば以降、諸藩では、いわゆる名君が儒学者を顧問にして藩政の改革を進めた」に関連して、藩主とその儒学者の組合せとして正しいものを、次の①~④のうちから一つ選べ。

- ① 藩主:池田光政、儒学者:熊沢蕃山
- ② 藩主:池田光政、儒学者:藤田東湖
- ③ 藩主:徳川光圀、儒学者:熊沢蕃山
- ④ 藩主:徳川光圀、儒学者:藤田東湖

答➡



【2003-追】

徳川綱吉の政治について誤っているものを、次の①~④のうちから一つ選べ。

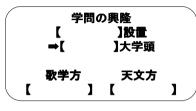
- ① 生類憐みの令を出して、犬をはじめとする鳥獣の保護を命じた。
- ② 貨幣の質を落とした改鋳を行い、物価の騰貴を招いた。

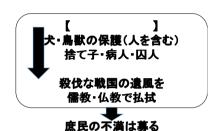
Pain is inevitable Suffering is optional

- ③ 湯島に聖堂を建てて、学問所として整備した。
- ④ 側用人として、大岡忠相を重用した。

答➡







幕府・藩の財政

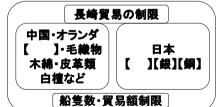
- 3代家光までゆとりあり(金山・銀山から算出)
- 4代家綱➡【 】の大火 復旧で消費
- 5 代綱吉➡寺社造営:上野【 】 護国寺 窮乏

貨幣改鋳→【 】 小判に

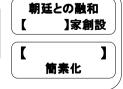
差額➡【 】で幕府収入➡一時的に物価高騰

6代家宣・7代家継 7年間 正徳の治=【 】 再び改鋳・・・・正徳金を発行

失敗







Pain is inevitable Suffering is optional

25 産業の発達

【2008-本】

空欄に入る語句の組合せとして正しいものを、次から一つ選べ。

- 1. アー増加 イー奨励 2. アー増加 イー制限
- 3. アー減少 イー奨励 4. アー減少 イー制限

正答➡

下線部 b に関連して述べた文<u>対馬藩を通じて輸入していた朝鮮人参は、幕府が栽培を成功さ</u>せ、諸藩にも栽培を奨励したとして誤っているものを、次から一つ選べ。

- 1. 対馬藩は、己酉約条を結んで朝鮮貿易を独占した。
- 2. 対馬藩は、釜山に置かれた倭館に貿易船を派遣した。
- 3. 幕府は、株仲間を解散して朝鮮人参座を設けさせた。
- 4. 幕府は、朝鮮人参とともに甘藷の普及にもつとめた。

答➡

【2008-本】

次の史料は、大蔵永常『広益国産考』の一節である。

倩 {つらつら} 国産の事を考ふるに、c:国に其 {その} 品なくして他国より求むるをふせぎ、多く作りて他国へ出し其価を我国へ取入れ、民を潤し国を賑 {にぎわ} す事肝要ならんかし。扨 {さて}、昔より今に冠たる産物は、 $\underline{d}:$ 薩摩の砂糖、中国・土佐の紙、九州の蝋 {ろう}、[e: 畿内の綿]、出羽の紅花 {べにばな}、越後縮 {ちぢみ}、奈良晒 {さらし}、京都の織ものは云 {い} ふも更なり、(後略)

問1 下線部 c と同様の意図をもって実施された諸藩の政策について述べた文として正しいものを、次から一つ選べ。

- 1. 特産物の生産を奨励し、専売制を実施した。
- 2. 綿花や菜種などの商品作物の栽培を制限した。
- 3. 城下町を建設し、商工業者を集住させた。
- 4. 百姓が他国に出稼ぎに行くことを制限した。

答➡

問2 下線部 d に関連して、江戸時代の薩摩藩に関して述べた次の文X~Zについて、その 正誤の組合せとして正しいものを、下から一つ選べ。

- X 奄美三島(奄美諸島)を支配して、砂糖を生産させた。
- Y 琉球を通じて中国との密貿易を行い、利益を得た。
- Z 生麦事件の報復にきたフランス艦隊と交戦した。
 - 1. X-正 Y-正 Z-誤 2. X-正 Y-誤 Z-誤
 - 3. X 一誤 Y 一正 Z 一正 4. X 一誤 Y 一誤 Z 一正

正答➡

問3 下線部 e の綿と関連した近世の産業について述べた次の文X・Yと、その産物 a ~ d との組合せとして正しいものを、下から一つ選べ。

- X 九十九里浜で地引(曳)網により捕獲されて、綿作などの肥料に加丁された。
- Y 阿波国(徳島県)でさかんに栽培されて、木綿などの染料に加工された。
- a. 鰊 b. 鰯 c. 藍 d. 櫨
- 1. X—a Y—c 2. X—a Y—d 3. X—b Y—c 4. X—b Y—d 正答 \Longrightarrow

新田開発による農村の発展







